

**監理・主任技術者名簿**

## 記入例

[illegible]

上記の者は、申請者の職員であり、記載した事項は事実と相違ないことを誓約いたします。

申請者(本社) 所在地 兵庫県赤穂市加里屋81番地  
商号又は名称 赤穂太郎建設株式会社  
代表者職氏名 代表取締役 赤穂太郎

赤穂市指定様式第3号の2（※様式第3号において、経験年数を要する資格により主任技術者を登録する場合は、当該技術者の経歴をこの様式に記入してください。）

登録する主任技術者名 【 赤穂 二郎 】

建設業許可業種別実務経験年数表

建設業の許可業種(29種)	経歴(期間)		在籍年数			在籍した企業名
土木工事業	昭和61年1月1日	～ 昭和63年10月31日	2	年	10 月	●●組建設
	昭和63年11月1日	～ 平成9年10月31日	9	年	0 月	赤穂太郎建設
		～		年	月	
建築工事業	平成9年11月1日	～ 現在	25	年	6 月	赤穂太郎建設
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	
		～		年	月	

上記の者は、申請者の職員であり、記載した事項は事実と相違ないことを誓約いたします。

申請者(本社)

所在地

兵庫県赤穂市加里屋81番地

商号又は名称

赤穂太郎建設株式会社

代表者職氏名

代表取締役 赤穂太郎

## 記載要領等

- 1 太線の枠内を記載してください。
- 2 この名簿に記載する技術者は、申請者の職員のうち、**赤穂市内の公共工事に従事することが可能な技術者**を記載してください。  
工事請負に際して、この**名簿に記載のない技術者を主任（監理）技術者として配置することはできません。**
- 3 主監区分欄は、次のコード番号により記載してください。  
主任技術者 0          監理技術者 1
- 4 資格者証交付番号欄は、一般財団法人建設業技術者センター発行の監理技術者資格者証の番号を記入するとともに、**資格者証（入札参加資格審査申請時に有効期限内のもの）の写し（表・裏）を添付してください。**また、**資格者証に加えて指定講習に係る修了証の写しも提出してください。**なお、**資格者証以外の監理技術者資格を証明するものは不可といたします。**
- 5 生年月日欄の年号は、次のコード番号により記載してください。  
昭和 1          平成 2
- 6 保有する国家資格欄は、次のコード番号により記載してください。

根拠法令等	コードNo.	資 格 区 分	コードNo.	資 格 区 分
	1	建設業法第7条第1項第2号イ該当(学校教育法)	2	建設業法第7条第1項第2号ロ該当《10年以上の実務経験》
	3	建設業法第15条第1項第2号ハ該当(同号イと同等以上)	4	建設業法第15条第1項第2号ハ該当(同号ロと同等以上)
	11	一級建設機械施工管理技士	1F	一級建設機械施工管理技士補
	12	二級建設機械施工管理技士(第1種～第6種)	1G	二級建設機械施工管理技士補(第1種～第6種)
	13	一級土木施工管理技士	1H	一級土木施工管理技士補
	14	二級土木施工管理技士(土木)	1J	二級土木施工管理技士補(土木)
	15	二級土木施工管理技士(鋼構造物塗装)	1K	二級土木施工管理技士補(鋼構造物塗装)

建設業法	16	二級土木施工管理技士(薬液注入)	1L	二級土木施工管理技士補(薬液注入)
	20	一級建築施工管理技士	2C	一級建築施工管理技士補
	21	二級建築施工管理技士(建築)	22	二級建築施工管理技士(躯体)
	23	二級建築施工管理技士(仕上げ)	2D	二級建築施工管理技士補
	27	一級電気工事施工管理技士	2E	一級電気工事施工管理技士補
	28	二級電気工事施工管理技士	2F	二級電気工事施工管理技士補
	29	一級管工事施工管理技士	2G	一級管工事施工管理技士補
	30	二級管工事施工管理技士	3A	二級管工事施工管理技士補
	31	一級電気通信工事施工管理技士	3B	一級電気通信工事施工管理技士補
	32	二級電気通信工事施工管理技士	3C	二級電気通信工事施工管理技士補
	33	一級造園施工管理技士	3D	一級造園施工管理技士補
	34	二級造園施工管理技士	3E	二級造園施工管理技士補
建築士法	37	一級建築士	38	二級建築士
	39	木造建築士		
	41	建設・総合技術監理（建設）	42	建設「鋼構造及びコンクリート」・総合技術監理(建設「鋼構造及びコンクリート」)

技術士法	43	農業「農業土木」・総合技術監理（農業「農業土木」）	44	電気電子・総合技術監理（電気電子）
	45	機械・総合技術監理（機械）	46	機械「流体力学」又は「熱工学」・総合技術監理（機械「流体力学」又は「熱工学」）
	47	上下水道・総合技術監理（上下水道）	48	上下水道「上水道及び工業用水道」・総合技術監理（上下水道「上下水道及び工業用水道」）
	49	水産「水産土木」・総合技術監理（水産「水産土木」）	50	森林「林業」・総合技術監理（森林「林業」）
	51	森林「森林土木」・総合技術監理（森林「森林土木」）	52	衛生工学・総合技術監理（衛生工学）
	53	衛生工学「水質管理」・総合技術監理（衛生工学「水質管理」）	54	衛生工学「廃棄物管理」・総合技術監理（衛生工学「廃棄物管理」）
電気工事士法・電気事業法	55	第一種電気工事士	56	第二種電気工事士【3年以上の実務経験】
	58	電気主任技術者（第1種～第3種）【5年以上の実務経験】		
電気通信事業法	59	電気通信主任技術者【5年以上の実務経験】	35	工事担当者（電気通信事業法に基づく工事担当者資格証の交付を受けた者）【3年以上の実務経験】
水道法	65	給水装置工事主任技術者【1年以上の実務経験】		
消防法	68	甲種消防設備士	69	乙種消防設備士
	71	建築大工	64	型枠施工
	72	左官	57	とび・とび工
	73	コンクリート圧送施工	66	ウェルポイント施工
	74	冷凍空調和機器施工・空調和設備配管	75	給排水衛生設備配管

職業能力開発 促進法	76	配管・配管工	70	建築板金「ダクト板金作業」
	77	タイル張り・タイル張り工	78	築炉・築炉工・れんが積み
	79	ブロック建築・ブロック建築工・コンクリート積みブ ロック施工	80	石工・石材施工・石積み
	81	鉄工・製罐	82	鉄筋組立て・鉄筋施工
	83	工場板金	84	板金・建築板金・板金工
	85	板金・板金工・打出し板金	86	かわらぶき・スレート施工
	87	ガラス施工	88	塗装・木工塗装・木工塗装工
	89	建築塗装・建築塗装工	90	金属塗装・金属塗装工
	91	噴霧塗装	67	路面標示施工
	92	畳製作・畳工	93	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕 上げ施工・表装・表具・表具工
	94	熱絶縁施工	95	建具製作・建具工・木工・カーテンウォール施工・サッ シ施工
	96	造園	97	防水施工
	98	さく井		
その他	61	地すべり防止工事【１年以上の実務経験】	40	基礎ぐい工事
	62	建築設備士【１年以上の実務経験】	63	計装【１年以上の実務経験】

その他	60	解体工事	36	基幹技能者（登録基幹技能者講習を修了した者）
	99	その他（上記コードに該当するものを除く）		

※備考 資格区分に記載されている【 】内の年数は、当該欄に記載されている資格を取得するための試験に合格した後、建設業法第7条第1項第2号ハに該当するために必要な実務経験の年数です。

- 7 国家試験合格証明書、免許証、免状、合格証書等の写しを添付してください。また、「直接的な雇用関係」を証明できる書類（監理技術者資格者証、雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属企業が発行した雇用証明書（任意の様式）等のいずれか。※健康保険被保険者証は不可。）もあわせて提出してください。
- 8 建設業法第7条第1項第2号ロ（コード番号02）または建設業法第7条第1項第2号ハ（実務経験）に該当する者を記載する場合は、指定様式第3号の2「建設業許可業種別実務経験年数表」及びその内容を証明できる資料を提出してください。
- 9 実務経験とは、申請する業務に関する技術上のすべての職務経験（工事の施工を指揮・監督した経験、及び実際に工事の施工に携わった経験）をいい、雑務や事務の仕事に関する経験は含みません。